

2023年4月に開店した川崎塚越店(神奈川県川崎市)



第 69 期

中間報告書

2023年3月1日～2023年8月31日



株式
会社

ライフコーポレーション

「第七次中期経営計画」の取り組みを加速させ、 「お客様からも社会からも従業員からも 信頼される日本一のスーパーマーケット」 を目指します。



代表取締役社長執行役員
岩崎高治

🍀 当期間の状況

株主の皆様には、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第69期第2四半期連結累計期間の概況につきましてご報告申し上げます。

当期間におけるわが国経済は、資源価格の高止まりによるインフレの継続、世界規模での金融引き締め等による景気停滞、円安の影響等により、先行き不透明な状況が継続しておりますが、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更や行動制限の撤廃に伴い国内の社会経済活動が正常化に向かう中、4～6月の経済成長率は底堅い状況にあり企業業績は好調に推移しました。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、商品価格上昇により収益面では総じて回復傾向が見られましたが、物価上昇や実質賃金の減少に伴う今後の消費マインド低下が懸念されるだけでなく、人件費や電力料金、物流費をはじめとする各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

🍀 「第七次中期経営計画」の取り組み状況

本年度より、「第六次中期経営計画」で構築したものと外部環境の変化を踏まえ、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとした「第七次中期経営計画」に取り組んでおります。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場に向けた投資を行います。
- ・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで利用できるライフアプリからの情報提供により、お客様に快適なお買い物体験の提供を目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現に貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のため

の取り組み（環境負荷低減、地域社会への貢献等）を実施していきます。

また、3つのテーマを推進するにあたり、人手不足の状況でも第七次中期経営計画をやり遂げるために生産性を高めるとともに、コストの最適化を目指し『「カイゼン」の輪をつなぐ』のスローガンのもと全従業員が自ら「カイゼン」に取り組む活動が着実に浸透してきております。

本年度の具体的な取り組みとしては、7月にライフアプリを刷新しさらに便利でお得な機能を追加しました。また、ライフのクレジットカード「LC JCBカード」の会員様が50万人を突破し、ポイントキャンペーンを6月から8月にかけて毎月1回ずつ期間限定で開催しました。

新規店舗としては、3月に宝塚中山寺店（兵庫県）、ビオラルパルコヤ上野店（東京都）、4月に川崎塚越店（神奈川県）、当社300店舗目となるセントラルスクエアらぽーと門真店（大阪府）、6月に梅島駅前店（東京都）、当社が初めて手掛ける「大型ビオラルカフェ」を併設したビオラル有明ガーデン店（東京都）を出店しました。既存店舗では、大泉学園駅前店、毛馬店で「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品等の品揃えを大幅に拡充する大型改装を行いました。

🍀 当社グループの業績と今後

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は4,001億48百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。一方、販管費は、水道光熱費の高騰、新規出店に伴う賃借料等の各種物件

費の増加に加え、採用強化等に伴う人件費も増加しましたが、生産性の向上、コスト最適化の取り組みが計画以上の結果につながり、営業利益は124億10百万円（前年同四半期比39.2%増）、経常利益は128億51百万円（前年同四半期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億34百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門1,668億95百万円（前年同四半期比4.8%増）、一般食品部門1,734億98百万円（前年同四半期比7.2%増）、生活関連用品部門335億41百万円（前年同四半期比5.4%増）、衣料品部門117億28百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

また、株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は13億73百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は2億7百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

小売業界におきましては、電気料金等のエネルギーコストの上昇による負担増加、労働人口の減少や最低賃金の引上げを背景とした人件費の上昇等により依然として厳しい状況にあり、ネット通販大手を含む業態を超えた生鮮食品分野への進出等、業界内の動きも激しくなっております。

このような厳しい環境の中、よりお客様に信頼される地域一番店を実現するために、2030年度に当社が目指す姿を見据えて、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け本年度より新たにスタートした「第七次中期経営計画」のすべての施策を着実に行ってまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

新規出店 NEW!

6店舗を新規出店

上期は3月に宝塚中山寺店、ビオラルパルコヤ上野店、4月に川崎塚越店、セントラルスクエアららぽーと門真店、6月に梅島駅前店、ビオラル有明ガーデン店を新規出店いたしました。

また、当社の店舗数は東西合計300店舗を達成し、ビオラル有明ガーデン店のオープンで302店舗となりました。

NEW! 1 当社300店舗目となる「セントラルスクエアららぽーと門真店」がオープン 大阪府門真市(2023年4月 開店)

日常とハレの日の両立を目指し、いつものライフに「彩(いろどり)」をプラスして、対面販売や「ららぽーと門真店限定商品」の品揃えを充実させました。ライフが自信を持っておすすめする商品を今まで以上に彩り、ショッピングモールで楽しんだ延長線でお越しただける、そしてショッピングモールと同じく「楽しさ」を目的にご来店いただけるお店を目指します。

大阪府と初の共同開発「大阪産(もん)」商品



魚屋のお惣菜を対面販売



店舗コンセプト

～日々のお買い物を便利から、楽しいへ。～
想像を超えるワクワクとおいしさに“彩”を付加し、
『ららぽーと門真』でしか味わえない体感・体験・発見で
“最高のENJOY”を提供する!

NEW! 2 川崎塚越店 神奈川県川崎市(2023年4月 開店)

JR南武線「矢向」駅から北東500mに位置し、店舗周辺は半径1km圏内に競合店が9店舗あるスーパーマーケット激戦区にオープンいたしました。近隣にはマンションの建設が予定されており、今後人口増加が見込まれるエリアへの出店となりました。

お惣菜、手作りパンなど店内でできた商品の幅広い品揃えを実現し、ライブ感あふれる“ライフらしい”売場で、毎日の暮らしを「もっと便利に、もっと楽しく、もっと豊かに」するお店を目指します。



NEW! 3 ビオラル有明ガーデン店 東京都東区(2023年6月 開店)

商業施設「住友不動産ショッピングシティ有明ガーデン」のモール2階にオープンいたしました。ビオラル有明ガーデン店は、当社初の取り組みとなる「大型ビオラルカフェ」を併設しております。店舗で販売している商品を使用したメニューをご提供することで、ビオラルの世界観を体験いただき、より多くのお客様にビオラルの良さを知っていただくきっかけになる店舗を目指します。



既存店舗の改装 RENEWAL!

大型改装を2店舗実施

上期は4月に大泉学園駅前店、6月に毛馬店を改装し、店舗の活性化を図りました。

RENEWAL! 1 大泉学園駅前店 東京都練馬区(2023年4月 改装)

“惣菜売場”・“冷凍食品売場”・“酒売場”・体に優しい素材や製法、健康や自然志向に合わせた商品を集めた“ビオラルコーナー”を1階から2階へ移設し、品揃えを大幅に拡大いたしました。さらに新店で好調のライフ最新コーナーも導入し、お客様がワクワクするような魅力あるお店に生まれ変わりました。



RENEWAL! 2 毛馬店 大阪府大阪市(2023年6月 改装)

店舗周辺は、「職住近接」への注目度の高まりから、ファミリー層の移住が増加している地域です。複数の大規模な集合住宅が広がり、ファミリー層・シニア層のお客様に多くご来店いただいております。このような地域特性に合わせ、すぐに食べられる時短・簡便商品やお惣菜、手作りパンの品揃えを強化いたしました。さらに、スマートフォンでスキャンしながらお買い物を進めることができる「ピピットセルフ」を導入し、お買い物時間の短縮に貢献いたします。

装いを新たに、生まれ変わった売場と豊富な品揃えでお客様をお迎えし、信頼される地域一番店を目指します。





<第七次中期経営計画 社長メッセージ動画公開のお知らせ>

2023年度から2026年度を対象期間とする第七次中期経営計画の詳細について、当社代表取締役社長執行役員の岩崎高治が説明する「社長メッセージ動画」を当社ホームページ上に公開いたしました。

第七次中期経営計画は、2023年度から2026年度の4年間の計画ですが、その先にある「2030年度に目指す姿」を展望し策定しております。

2030年度に目指す姿は、地域密着のスーパーマーケットとして、皆様に「私のスーパーマーケット」と言っていただける会社です。財務面の目標では、売上高1兆円、経常利益350億円、当期純利益220億円、店舗数400店舗を掲げております。非財務面の目標では、CO₂排出量の50%削減(2013年度比)、売上当たり最終食品廃棄量50%削減(2017年度比)、従業員満足度4.0、女性管理職比率20%、男性育児関連休暇取得率100%を掲げております。

また、第七次中期経営計画では「つながり」をキーワードといたしました。従業員一人ひとりが一緒に働く仲間、地域の皆様、お取引先様など様々なステークホルダーとの「つながり」を意識し、能動的に連携・協働することで、より良いlife(暮らし・生活)と社会の実現につなげていきたいという思いを込めております。

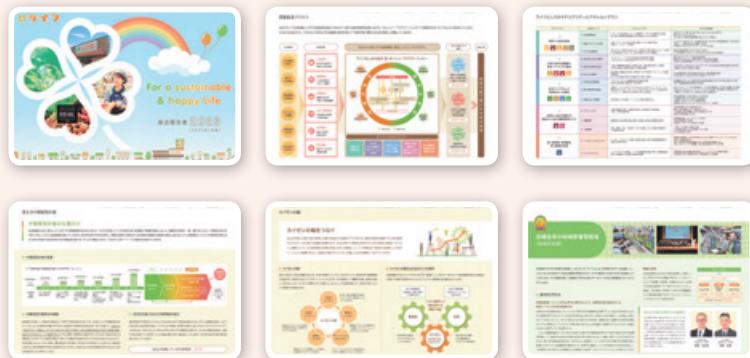


ご紹介ページ

URL : <http://www.lifecorp.jp/company/info/strategy/concept.html>

<「統合報告書2023」を発行いたしました>

株主様・投資家の皆様、お客様、お取引先様、従業員などステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを一層強化し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献するために、当社が大切にしている価値観や具体的な取り組みなどを記載しております。



ご紹介ページ

URL : http://www.lifecorp.jp/company/ir/integrated_report.html



<「首都圏SM物流研究会」の発足が「サプライチェーン イノベーション大賞2023」で優秀賞を受賞>

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限が規制され、ドライバーの労働時間短縮や人手不足による貨物輸送量の低下が懸念される、いわゆる「2024年問題」や、ECの配送増加などによる物流需給のひっ迫から、食品物流は将来的に商品が運べなくなる可能性があると言われております。当社は、物流危機を回避し、地域の生活を支える社会インフラとしての責務を継続して果たすため、首都圏で店舗展開するスーパーマーケット3社(サミット株式会社、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー)と共に2023年3月に「首都圏SM物流研究会」を発足させました。

この取り組みが評価され、「サプライチェーン イノベーション大賞2023」で「優秀賞」を7月14日に受賞いたしました。「サプライチェーン イノベーション大賞」とは、経済産業省が事務局を務める製・配・販連携協議会がサプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下で優れた取り組みを行い、業界を牽引した事業者に対しその功績を表彰するものです。引き続き、物流効率化策を研究・検討してまいります。

○取り組み概要

持続可能な食品物流に向けた取り組みとして以下4点を実施。

- (1) 加工食品における定番商品の発注時間の見直し
- (2) 特売品・新商品における発注・納品リードタイムの確保
- (3) 納品期限の緩和(1/2ルールを採用)
- (4) 流通BMSによる業務効率化



<地球にやさしい取り組みを学ぶ「ライフサステナツアー」を初開催!>



7月22日にライフ溝口店において小学生と保護者を対象とした「ライフサステナツアー」を開催し、15組35名の方にご参加いただきました。

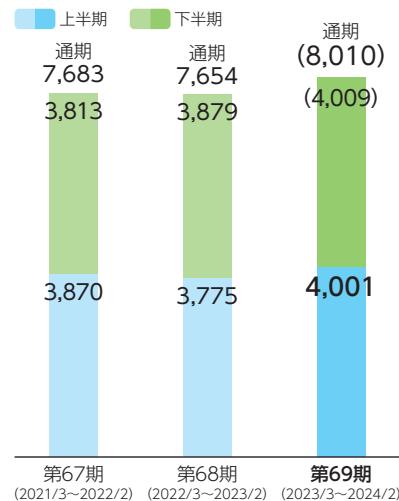
当社が実施している太陽光発電や省エネの取り組み、資源リサイクルなどを店内やバックヤードを巡りながら学んでいただきました。また、店頭のリサイクルBOXで回収している資源について、様々な容器を「回収できる物」「回収できない物」に分ける「資源分別ゲーム」を行い、資源リサイクルについての理解を深めていただきました。

今後も地域とのつながりを深めるとともに、資源リサイクルの強化など循環型社会の実現に向けて取り組んでまいります。

連結決算の概要

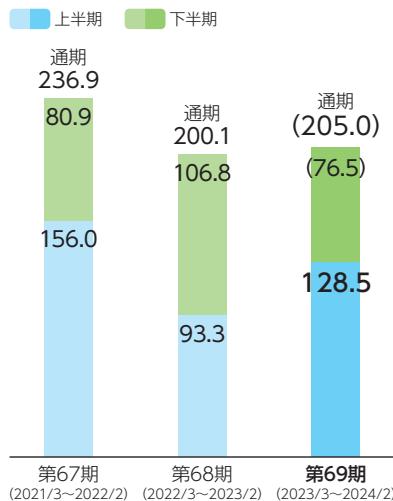
営業収益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1億円未満切り捨て



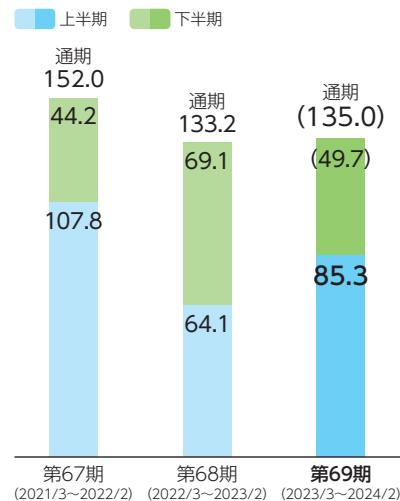
経常利益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1千万円未満切り捨て



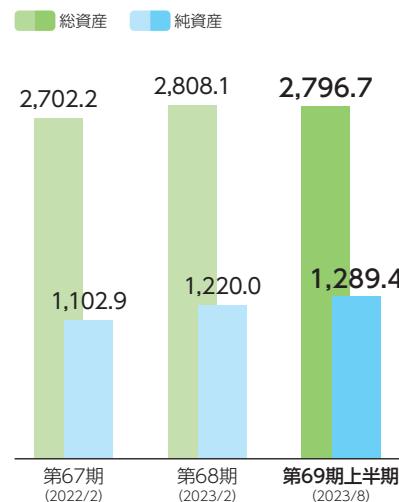
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1千万円未満切り捨て



総資産・純資産の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



部門別売上高の推移

単位:百万円 ()内は構成比率% ※百万円未満切り捨て



※第68期上半期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、収益の会計処理方法が異なるため、テナント売上高は記載しておりません。

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期 連結会計期間末 2023年8月31日現在	前連結会計年度末 2023年2月28日現在
資産の部		
流動資産	78,620	80,490
固定資産	201,053	200,319
有形固定資産	155,778	155,880
無形固定資産	4,005	3,218
投資その他の資産	41,270	41,220
資産合計	279,673	280,810
負債の部		
流動負債	112,861	128,236
固定負債	37,866	30,571
負債合計	150,728	158,807
純資産の部		
株主資本	127,907	121,010
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	116,037	109,147
自己株式	△ 3,830	△ 3,838
その他の包括利益累計額	1,038	992
その他有価証券評価差額金	695	588
土地再評価差額金	△ 1,154	△ 1,154
退職給付に係る調整累計額	1,496	1,558
純資産合計	128,945	122,002
負債純資産合計	279,673	280,810

連結損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 連結累計期間 2023年3月1日から 2023年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
売上高	385,663	364,251
売上原価	265,804	252,407
売上総利益	119,858	111,843
営業収入	14,484	13,311
営業総利益	134,343	125,155
販売費及び一般管理費	121,932	116,241
営業利益	12,410	8,914
営業外収益	564	540
営業外費用	123	123
経常利益	12,851	9,331
特別利益	—	—
特別損失	264	15
税金等調整前四半期純利益	12,587	9,315
法人税、住民税及び事業税	4,067	2,355
法人税等調整額	△ 14	547
法人税等合計	4,052	2,902
四半期純利益	8,534	6,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,534	6,412

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期 連結累計期間 2023年3月1日から 2023年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,517	18,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,557	△ 14,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,599	△ 5,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,639	△ 2,533
現金及び現金同等物の期首残高	9,327	9,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,687	6,875

(注) 連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

店舗一覧

近畿圏

大阪府 127店舗

豊中店	百舌鳥店	歌島店	寝屋川黒原店	緑橋店	住吉山之内店
塚本	箕面店	関目店	大田町店	御幣店	空堀店
岡町店	福泉店	庄内店	天神橋店	セントラルスクエア西宮原店	玉出東店
桃山台店	門真店	ピオラル韮店	太平寺店	京橋店	Miniel西本町店
北野田店	横堤店	喜連瓜破店	三津屋店	堺駅前店	安田諸口店
高石店	江口店	吹田泉町店	セントラルスクエアなんば店	玉造店	箕面桜ヶ丘店
忠岡店	守口寺方店	新深江店	下寺店	セントラルスクエア北島店	中崎駅前店
福田店	深江橋店	服部店	出屋敷店	清水谷店	朝潮橋駅前店
豊里店	十三東店	野田店	石津店	森ノ宮店	堺インター店
城山台店	四天王寺店	志紀店	西天下茶屋店	高殿店	ピオラルエキマルシェ大阪店
恵我之荘店	長居店	此花伝法店	岸部店	セブンパーク天美店	セブンパーク天美店
国分店	玉串店	寝屋川店	加賀屋店	枚方T-SITE店	枚方T-SITE店
出来島店	住吉店	牧野店	久宝寺駅前店	守口滝井店	花園中央公園店
滝谷店	都島高倉店	高槻城西店	土佐堀店	初芝店	★セントラルスクエアららぽーと門真店
御崎店	生野林寺店	大仙店	大淀中店	旭大宮店	
巽店	八尾竹濑店	豊津店	弁天町店	堂島大橋店	
平野西脇店	菱江店	西大橋店	あびこ店	寺田町駅前店	
今里店	南津守店	香里園店	西田辺店	八戸ノ里店	
杭全店	崇禅寺店	新石切店	塩草店	鶴見今津北店	
八尾店	本庄店	なかみず店	太融寺店	西淡路店	
和泉大宮店	御殿山店	毛馬店	東大阪長田店		
高井田店	正雀店	三国橋店	昭和田駅前店		
泉尾店	新北島店	西九条店			

兵庫県 18店舗

甲子園店	今津駅前店
武庫川店	本山店
福崎店	春日野道店
御影店	下山手店
尼崎大西店	須磨鷹取店
浜甲子園店	西宮北口店
西代店	夙川店
神戸駅前店	阪神鳴尾店
長田店	★宝塚中山寺店

京都府 18店舗

寺田店	二条駅前店
男山店	北白川店
壬生店	セントラルスクエア西大路花屋町店
西京極店	川端東一条店
太秦店	智恵光院店
伏見深草店	四条烏丸店
西七条店	堀川北山店
梅津店	四条大宮店
宝ヶ池店	
西陣店	

奈良県 3店舗

御所店
大淀店
トナリエ大和高田店

(注)★印の店舗は、2023年度新規出店であります。

166店舗

(2023年8月31日現在)

首都圏

東京都 93店舗

板橋店	赤塚店	大泉学園駅前店	中野坂上店	マチノマ大森店
仲宿店	船堀店	六町駅前店	若松河田駅前店	ムスブ田町店
笹塚店	前野町店	大崎百反通店	新桜台駅前店	桜新町店
南台店	北赤羽店	大森中店	ココネリ練馬駅前店	本一色店
竹の塚店	東尾久店	扇橋駅前店	ポンテポルタ千住店	コモレ四谷店
中目黒店	渋谷東店	江北駅前店	東五反田店	ピオラル丸井吉祥寺店
瑞江店	中野駅前店	大谷田店	錦糸町駅前店	東日暮里店
篠崎店	浅草店	奥戸店	新御徒町店	本郷三丁目駅前店
鹿骨店	武蔵小山店	神田和泉町店	品川御殿山店	ピオラル下北沢駅前店
西大泉店	千川駅前店	南千住店	セントラルスクエア押上駅前店	セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店
府中中河原店	石神井公園店	奥戸街道店	京急蒲田駅前店	カメイドクロック店
深川猿江店	東向島店	大崎ニューシティ店	西小岩店	ピオラル新宿マルチ店
平和台店	東中野店	葛飾白鳥店	東砂店	西荻窪店
土支田店	アクトピア北赤羽店	菊川店	鶏の木店	豊洲店
葛飾鎌倉店	千歳烏山店	落合南長崎駅前店	キテラタウン調布店	市谷薬王寺店
中野新井店	石神井台店	練馬中村北店	氷川台店	★ピオラルパルコヤ上野店
大森南店	水元店	目黒大橋店	東馬込店	★ピオラル有明ガーデン店
新大塚店	亀戸店	上池台店	東府中店	★梅島駅前店
経堂店	幡ヶ谷店	西蒲田店		

埼玉県 7店舗

北越谷店	吉川栄町店
指扇店	蕨駅前店
吉川駅前店	
新座店	
さいたま新都心店	

千葉県 5店舗

松戸二十世紀ヶ丘店
佐倉店
宮野木店
増尾店
市川国分店

神奈川県 31店舗

東有馬店	希望が丘店	宮内二丁目店
鶴見店	川崎京町店	戸塚汲沢店
高津新作店	相模原モール店	有馬五丁目店
川崎桜本店	相模原若松店	川崎大島店
川崎御幸店	大倉山店	鶴見下野町店
大口店	子母口店	青葉しらとり台店
宿河原店	相模大野駅前店	川崎ルフロン店
相模原駅ビル店	中原井田店	グランシップ大船駅前店
向ヶ丘遊園店	上鶴間店	溝口店
鎌倉大船モール店	宮崎台店	ピエラ蒔田店

(順不同)

合計 **302**店舗

会社情報

会社概要 (2023年8月31日現在)

商号	株式会社ライフコーポレーション LIFE CORPORATION
創業	1910年
設立	1956年10月24日
資本金	10,004,000,000円
従業員の状況 (単体)	人数:7,382名 平均年齢:40.5歳 平均勤続年数:15.0年
本店及び本社	本店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原二丁目2番22号 電話(06)6150-6111(代) 東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東一丁目2番16号 電話(03)5807-5111(代)
グループ会社	株式会社ライフフィナンシャルサービス (クレジットカード、電子マネー事業)
役員一覧	※取締役社長執行役員 岩崎 高 治 取締役専務執行役員 森下 留 寿 取締役常務執行役員 角野 喬 取締役常務執行役員 河合 信 之 取締役 成田 恒 一 取締役 矢矧 晴 彦 取締役 河野 宏 子 取締役 片山 隆 常勤監査役 末吉 薫 監査役 真木 光 夫 監査役 宮竹 直 子 監査役 塩野 光 二

(注)※は、代表取締役であります。

株式情報

○株式の状況

(2023年8月31日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	49,450,800株
株主数	6,471名

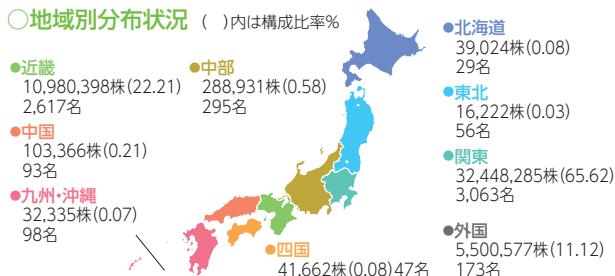
○大株主

株主名	持株数(株)
三菱商事株式会社	10,562,500
清信興産株式会社	5,382,000
公益財団法人ライフスポーツ財団	3,229,200
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,790,500
ライフ共栄会	2,366,312
三井住友信託銀行株式会社	2,264,000
農林中央金庫	2,100,276
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	989,600
住友生命保険相互会社	737,000

○所有者別分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(株)	構成比率(%)
金融機関	26	11,454,526	23.17
証券会社	24	513,479	1.04
その他の国内法人	324	24,158,363	48.85
外国法人等	190	5,503,689	11.13
個人・その他	5,906	5,381,854	10.88
自己株式	1	2,438,889	4.93
合計	6,471	49,450,800	100.00

○地域別分布状況 ()内は構成比率%



単元未満株式の買取請求のご案内

単元未満株式の買取請求とは、1単元(100株)未満の当社株式を、株主様が当社に対して時価で売却することができる制度です。1単元(100株)未満の株式は証券取引市場で売買していただくことができません。

単元未満株式の買取りに関するお手続き

- 証券会社に口座を開設されている株主様
証券会社に口座を開設していただいているお取引先の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
証券会社の口座に記録していない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座に記録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
中間配当金 8月31日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
東京都市千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎0120-782-031

受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

(インターネットホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法

電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

[公告掲載アドレス] <http://www.lifecorp.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしております。特別口座についての住所変更等のお届出及びご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは財務情報のほかにも、お店のチラシやネットショップ、ネットスーパーなどのお買い得商品のご紹介、お料理レシピや社会・環境活動報告書をご覧ください。ぜひご利用ください。



<http://www.lifecorp.jp/>